

令和3(2021)年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	管理会計 (Control accounting) 393130-14600					担当教員	喬 雪氷 (キョウ セツヒョウ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要								
<p>管理会計はマネジメントのための会計である。企業における「マネジメント」とは、組織の目標を設定し、その目標を達成するために組織の経営資源を効率的に活用し、リスク管理などを実施することをいう。本講義は経営ビジネスシーンを仮定し、原価計算、利益管理、意思決定の3つの側面から、各基礎概念を取りあげながら、課題設定、演習まで、幅広く管理会計の知識を学ぶ。</p>								
② ディプロマ・ポリシーとの関連								
職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力								
③ 授業の進め方・指示事項								
各回の講義前に、指定する範囲について教科書を必ず一読すること。事後学習に関しては、配布するプリントを復習する。								
④ 関連科目・履修しておくべき科目								
「工業簿記1・2」、「原価計算論1・2」を併せて履修することを推奨する。								
⑤ 標準的な達成レベルの目安								
(i) 管理会計における「原価」の各種概念を理解する								
(ii) 利益管理とその実行について、分析・活用できる								
(iii) 戦略的意思決定に必要な管理会計の知識を身に付ける								
⑥ テキスト(教科書)								
渡辺康夫(2017)『激わかる! 実例つき管理会計』実業之日本社 テキストの他に、必要に応じてプリントも配布する。								
⑦ 参考図書・指定図書								
櫻井通晴(2019)『管理会計 第七版』同文館出版								

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 管理会計における「原	30%	20%						50%

価」の各種概念を理解する。								
(ii) 利益管理とその実行について、分析・活用できる	30%							30%
(iii) 戦略的意思決定に必要な管理会計の知識を身に付ける	20%							20%
フィードバックの方法	成績の評価は、期末テストの成績（80%）と小テスト1回の成績（20%）の総合評価で行う。小テストは第7回目の授業時間内に実施する。第8回目の授業で返却し、解説を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
管理会計は、今ある情報から未来を予測し、経営戦略を組み立てる時に必要な会計と言われる。工業簿記や原価計算と緊密に関連するため、これらの関連科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。	

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス、 財務会計と管理会計の違い	筆記用具	教科書 pp. 70～73 を読んでくること。配布するプリントを復習する。	60分
2	決算書のおさらい、 財務3表の読み方	筆記用具	教科書 pp. 48～57 を読んでくること。B/S、P/L、C/F の基本構造を理解する。	60分
3	最低限押さえておくべき会計用語①～⑤	筆記用具	教科書 pp. 58～57 を読んでくること。学習した会計用語の意味を理解する。	60分
4	原価、直接費、間接費、間接費の配賦	筆記用具	教科書 pp. 74～81 を読んでくること。各概念及び間接費の配賦を理解する。	60分
5	固定費と変動費	筆記用具	教科書 pp. 82～85 を読んでくること。損益分岐点の意味を理解する。	60分
6	標準原価計算、実際原価計算、 原価差異分析	筆記用具	教科書 pp. 86～101 を読んでくること。各原価計算手法の構造を理解する。	60分
7	活動基準原価計算(ABC)、活動基準原価管理(ABM)、活動基準	筆記用具	教科書 pp. 102～109 を読んでくること。学習した内容を復習する。	60分

	予算管理(ABB)、小テスト			
8	利益管理、利益計画、 予算管理、業績評価	筆記用具	教科書 pp. 112～125 を読んでくること。各概念の意味を理解する。	60分
9	損益分岐点を見つける方法、 変動費型経営と固定費型経営	筆記用具	教科書 pp. 126～137 を読んでくること。変動費と固定費を復習する。	60分
10	利益を出す方法①、②、③	筆記用具	教科書 pp. 138～145 を読んでくること。各方法を理解する。	60分
11	部門ごとの利益管理	筆記用具	教科書 pp. 146～151 を読んでくること。管理可能費と管理不能費を理解する。	60分
12	意思決定：最善案、機会原価、 埋没原価、限界利益	筆記用具	教科書 pp. 154～167 を読んでくること。各概念を理解する。	60分
13	企業価値とフリーキャッシュ フロー	筆記用具	教科書 pp. 168～179 を読んでくること。企業価値の計算ができる。	60分
14	投資家が最低限必要とする利 益率	筆記用具	教科書 pp. 180～193 を読んでくること。資本コストの意味を理解する。	60分
15	まとめ	筆記用具	教科書 pp. 14～45 を読んでくること。各回授業のポイントを振り返り、期末試験に向けた準備学習。	60分

⑪ アクティブラーニングについて
授業の内容を基に、プリント（練習問題）を配布することにより学習内容をフィードバックする。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性